

外科後期研修プログラム

I 目標

当科における後期臨床研修の目的は、外科医としてふさわしい人格・技術・知識を備えた医療人を育成することにある。

日本外科学会に規定された必要修練実績は、最低手術件数 350 例（消化管及び腹部内蔵 50 例、乳腺 10 例、呼吸器 10 例、心臓・大血管 10 例、末梢血管 10 例、頭頸部・体表・内分泌外科 10 例、小児外科 10 例、各臓器の外傷 10 例）、術者として 120 例（分野は問わない）となっており、当科では後期研修三年次の前半期までに日本外科学会の定める最低必要手術経験数を満たすだけの研鑽を行う。

また、学会での定期的発表・論文作成を積極的に行い、最新の医療知識の獲得に努める。

II 通年の達成目標

1 年次

外科医として要求される基本的な診療姿勢を認識・体得する。消化器・呼吸器・術前術後カンファレンスでの積極的発言を通して診断に至る基本的な考え方を習得する。またそのために必要な検査手技について習熟・実践する。上級医指導のもと、外科当直業務を自己の責任下で行えるまでの判断力を身につける。

2 年次

自己の責任下での外科当直業務を通じて、外科的緊急疾患につき研鑽する。消化器疾患のより専門的な診断能力、手術手技を高める。

3 年次

将来的な専門領域を見通した専門的な研修を行う。初級レジデントの指導に積極的に関わることにより、自己の医療人としての能力・自覚を高める。
その他適宜、専門学会での発表、論文作成を行う。

III 期間別達成目標

1 年次前期

外科で必要となる基本手術手技の習得、消化管手術における全身管理のコンセプト、外科手術第一助手の役割（助手として 90 例の経験）

1 年次後期

外科・他外科系科・麻酔蘇生科・放射線科のなかから選択

外科：前期での内容・理解をさらに深める。外科救急疾患を重点的に担当する。

救急：麻酔科指導医のもと、外科に必要な麻酔技術を研鑽するとともに二次救急以上の救急疾患の診断・治療について研鑽する。

放射線科：画像診断のみならず、診断および治療目的でのインターベンションの手技に精通する。

他科：希望により外科以外の整形外科、脳外科、泌尿器科、産婦人科等、希望科にて研修を行う。

2 年次前期

胃・大腸の悪性疾患を中心とした、基本的診断能力・術前検査手技、術前・周術期・術後管理の実践。胃大腸疾患中心に 90 例の助手、ヘルニア・虫垂炎・痔核の手術を中心に最低 20 例の執刀医。

2 年次後期

肝・胆・膵疾患での基本的診断能力・術前検査手技、術前、周術期・術後管理の実践。肝・胆・膵疾患中心に 90 例の助手、前期での執刀医の領域を広げ、良性胆道系疾患の開腹および鏡視下手術を中心に 50 例の執刀医（週 2 例の執刀医を目標）。

3 年次前期

呼吸器・内分泌領域での、基本的診断能力・術前検査手技、術前・周術期・術後管理の実践。呼吸器・内分泌疾患中心に 90 例の助手、緊急手術に加え、気胸を中心とした胸腔鏡下手術、乳腺・甲状腺疾患を中心とした 50 例の執刀医。

3 年次後期

将来的な専門分野を見据えた呼吸器・消化器領域から自分の興味分野を選択し、より専門的な研鑽を行う。専門医に必要な心臓大血管・末梢血管領域での手術症例の経験を行う。

IV ローテーション内容

	6 ヶ月（前期）	6 ヶ月（後期）
1 年次	外科基礎必修研修（消化器） 外科基本手技・全身管理 AS：90	外科系希望科研修（選択） 外科(系)科・麻酔科・放射線科より選択
2 年次	外科必修研修（消化器 胃／大腸） OP：20、AS：90	外科必修研修（消化器 肝/胆/膵） OP：50、AS：90
3 年次	外科必修研修（呼吸器・内分泌） OP：50、AS：90	外科希望科研修（消化器 呼吸器） 関連病院での心臓大血管、小児外科手術研修

OP：執刀医 AS：助手

V 指導医

川真田修（岡山大学 昭和 59 年卒）

専門医資格：日本外科学会認定医・外科専門医・指導医

日本呼吸器外科学会専門医・評議員 日本胸部外科学会認定医

日本消化器外科学会認定医 日本乳癌学会認定医

日本がん治療認定医機構暫定指導医 日本肺癌学会評議員

宇田征史（愛媛大学 昭和 60 年卒）

専門医資格：日本外科学会認定医・外科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

身体障害者福祉法指定医師（直腸機能障害）

上塚大一（香川医科大学 平成 5 年卒）

専門医資格：日本外科学会認定医・外科専門医・指導医

日本消化器外科学会認定医・消化器外科専門医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医 消化器がん外科治療認定医

麻酔科標榜医

村田年弘（岡山大学 平成 8 年卒）

専門医資格：日本外科学会認定医・外科専門医・指導医

日本消化器外科学会専門医・指導医

日本肝胆膵外科学会評議員 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

消化器がん外科治療認定医